



二上山を背にした
叡福寺の遠景

民児協太子

太子町民生委員児童委員協議会
会長 伊庭 純 夫

編集 太子町民児協広報部会
事務局 太子町役場健康福祉部福祉課
TEL:0721-98-5519

謹賀新年



伊庭会長

謹んで年頭のお祝詞を申し上げます。

皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのこ
ととお慶び申し上げます。
日頃住民の皆様から民生
児童委員活動にご理解ご協
力を賜り御礼申し上げます。
一年を振り返りますと国
際的にはテロが頻発し核廃
絶環境問題など落ち着くと
ころを見いだせずにあります。
国内的には大型台風、長雨
などにより太子町にも十月
に避難指示が出ました。
一方、人間社会では技術
立国の命と言うべき品質保
証の検査改ざんが発生し日
本人の最も得意とする「勤
勉・努力・精進」の姿勢を今
一度見つめ直す時にきてい
ます。



新年のご挨拶



浅野町長

しかし、明るい話題もあ
ります。東京五輪まで千日
を切りました。世界が注目
する中でアスリートたちだ
けではなく、国民も「健康
で平和な国」を実現できる
ように願っています。
民生児童委員は社会福祉
の精神を持って誰もが安心
して暮らすことの出来る地
域社会づくりを目指して活
動していきます。今年もご
協力お願い申し上げます。

新年あけましておめでと
うございます。

皆様におかれましては、
輝かしい新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。
日頃から民生委員児童委
員の活動として、住民の皆

様の身近な相談相手として
さまざまな悩みや声を拾い
上げ、関係機関とともに解
決を目指す取組みに、大変
有難く感謝しております。
今日、急速な少子高齢化
や人間関係の希薄化などを
背景に、福祉を取り巻く環
境の変化とともに福祉に対
するニーズはますます多様
化しております。その中に
あつて民生委員の皆様方に
期待される役割はとて大
きなものとなっております。
国においても「我が事・
丸ごと」地域共生社会の実
現をめざす中、見守り活動
や要援護者支援等これから
の地域づくりにおいて地域
福祉を支える関係機関のよ
り一層の連携が必要であり
ます。
住民一人ひとりの暮らし
と生きがい、地域を共に創
っていくために皆様方には
これまで以上のお力添えを
賜りますようお願い申し上
げます。



★★お知らせ★★

こんぺいとう広場

保育園の園庭開放

受付時間：午前9時45分～午前10時

月	やわらぎ	松の木
1月	10日(水)	9日(火)
2月	14日(水)	13日(火)
3月	14日(水)	13日(火)

心配ごと相談

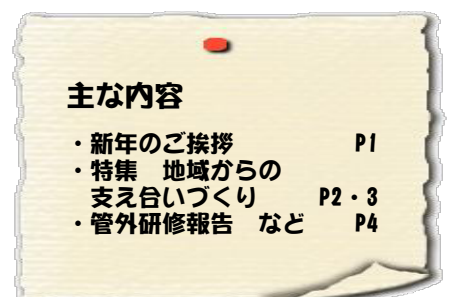
役場福祉課相談室

午後1時30分～午後3時

1月	10日(水)	25日(木)
2月	9日(金)	26日(月)
3月	9日(金)	26日(月)

主な内容

- ・新年のご挨拶 P1
- ・特集 地域からの
支え合いづくり P2・3
- ・管外研修報告 など P4



特集 地域からの支え合いづくりについて

新しい介護予防・日常生活支援総合事業が、平成 29 年から全面施行されました。また、地域づくりの基盤を整える生活支援体制整備事業の実施猶予期間も残りわずかとなりました。

この事業のポイントは、国が定めたマニュアルに沿って実施するのではなく、住民と行政や地域づくりを推進してきた社協が協働して、自分たちの地域の実情に合ったモノを創りだせるところにあります。

全国的に地域や隣近所のお付き合いが希薄化してきているといわれています。本当に希薄化してきているのでしょうか。太子町には、昔ながらの近所づきあいやつながりがまだまだあると思います。

2025 年の日本は、団塊の世代が 75 歳を超え、国民の 3 人に 1 人が 65 歳以上という時代を迎えます。太子町ももれなく迎えますが、「支え合い」「助け合い」を少し意識して、太子町に住んでいて良かった！と思える地域の支え合いを一緒に創りあげましょう。（社会福祉協議会）



各団体の活動を聴講し、住民主体による支え合いの地域づくりが、地域の活性化・

介護の予防に有効であると感じ、また、一人ひとりが地域や人に関わる事の重要性を再認識させられました。

②のパネルトークでは、寿喜菜、桜草クラブ、和光会より活動の経緯、運営方法について報告され、いづれも住民主体で立ち上げ、支え合い地域づくりに大いに貢献されています。

①の活動報告ではマイカーボランティアによる移動・外出支援を促進させるため、介護保険の適用、無償運送の必要性・ルール化等が報告され、3 団体（寿喜菜、桜草クラブ、和光会）が現存モデル事業として取組み中です。

④の活動報告ではマイカーボランティアによる移動・外出支援を促進させるため、介護保険の適用、無償運送の必要性・ルール化等が報告され、3 団体（寿喜菜、桜草クラブ、和光会）が現存モデル事業として取組み中です。

01 地域へのつながりの支え合いフォーラムを聴講して

03 ぐんぐん体操・いきいきサロンの活用

従来より、地域の「高齢者交流サロン」的役割は、「元気ぐんぐん体操・いきいきサロン」が担ってきました。

ぐんぐん体操は、この 10 年間で 25 カ所に増加。血圧測定、体操、ゲーム等で楽しみ、老化、ひきこもり、認知症の防止を目指しています。いきいきサロンも同様の趣旨で、平成 28 年度には、延 207 カ所で開かれ、3512 人が参加されました。

隣近所の気心の知れた仲間が集まる場として、もっと活用していいかと思います。

02 高齢者交流サロン「きたじりさんち」

交流サロン「きたじりさんち」は、自治型福祉 N P O を標榜する「磯長台の福祉を考えるつどい」が地域活動の拠点として、町の補助金を導入して設置したものです。困った時に「助けて」と言えるご近所づくりを目指して、毎日の安否確認からコーヒータイムや移送サービスなど、誰もが暮らしやすい磯長台づくりに「つどい」結成以来 13 年間取り組んできた一つの到達点が「きたじりさんち」と言えます。

活動拠点ができたことではからは住民が希望する様々な活動や事業が自由に展開でき、住民自治の力が一層育っていくことが私たちの願いです。



04 子どもが安心できる居場所づくり
 ～サニーサイドスタンダード～

昨今、子どもが育つ環境には様々な状況があります。保護者の有無、保護者の経済力や能力、保護者の離婚や再婚、保護者の忙しさ、家庭内不和、いじめ、虐待、不登校、高校中退など。その様な環境で育つ子どもたちは、どこか不安であったり、自分の気持ちを伝えるのが難しかったり、コミュニケーションに戸惑ったり、また、寂しい思いを抱えていたりします。そんな子どもたちに、多様な大人が寄り添い子どもと信頼関係を築き、子どもが安心できる居場所が必要です。

私たち sunny side standard(通称サニスタ)は2013年より子どもの居場所



を太子町内で開設しているNPO法人です。居場所には週1回子どもたちが集まり、ちよこつと学習、カードゲームやボードゲーム、調理実習、おしゃべりと多くの大人たちに囲まれてホットで安心できるひと時を過ごしています。このような居場所を地域に作り、地域で子どもたちを見守り育むことができればと願っています。

ホッとひといきコーナー



問題 次の漢字に共通する点は何だろう？

古 凶 三



ヒント

漢字を回転させてみてください。

05 高齢者交流サロンにつどいましょう♪

開設日	サロン	曜日	時間	場所	地区	活動内容
H27.9	寿喜菜の会 「いきいきクラブ」	木	13時～15時	寿喜菜の会 事務所	春日	事務所にて、絵手紙の作成、アルミ缶風車、折り紙等をおしゃべりしながら過ごす。
H27.9	桜草クラブ	月	12時～16時	いわき台 集会所	山田	持ち寄りで昼食をとったり、編み物、お茶会、お菓子作りなどを実施する。
H28.6	茶工房・咲	月・火	10時～16時	自宅	山田	自宅の一部を改装して実施。食事や喫茶をしてもらったり、手芸、おしゃべりをして過ごす。
H29.4	ふれあいサロン 「ふたかみ」	火	13時30分～ 15時30分	自宅	山田	敷地内のログハウスまたは自宅の1階でお茶会、ちぎり絵等を実施する。庭の畑で花や作物を育てたり、収穫、調理などを通して交流を図る。
H29.6	磯長台の福祉を 考えるつどい 「きたじりさんち」	水 金(第1, 2, 5)	14時～16時	磯長台の 空き家活用	春日	お茶を飲みながら交流会をしたり、歌を歌ったり、ゲームや体操したりする。子ども達との交流や病気予防のための知識を得る機会も取り入れる。
H29.9	布遊び工房・咲	木・金	14時～16時	向少路の 空き家活用	太子	手芸、お香、そろばん、おしゃべり、カラオケ等で自由に過ごす。(カフェも併設)
H29.11	プラスワンサービス 「山田朝子庵」	火・水・金	10時～14時	永田の 空き家活用	山田	お茶やコーヒーを飲みながら、交流を深めてもらう。ボランティアの育成と担い手づくりに取り組む。
H29.12	プラスワンサービス 「太子さんさん」	月・水・木	10時～14時	太子集会所	太子	お茶やコーヒーを飲みながら、交流を深めてもらう。卓球台を設置したり、暮会所として利用する。ボランティアの育成と担い手づくりに取り組む。

(資料：太子町高齢介護課)

